

青函トンネル: 技術の挑戦と未来への展望

- 主催： (公社) 地盤工学会関西支部
協賛： (公社) 土木学会関西支部, (特非) トンネル工学研究会
(予定) (一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部
(一社) 日本建築学会近畿支部, (公社) 大阪府建築士会
(一社) 関西地質調査業協会

日本を代表する土木工学の偉業、『青函トンネル』に関する講演会を開催いたします。

青函トンネルの建設は 23km に及ぶ海峡下という極めて困難な環境において、新たな技術を開発することで幾多の困難を克服しており、青函トンネル工事で開発された技術はその後の我が国のトンネル技術の発展に大きく貢献しました。この壮大な工学的成果は、英仏トンネルの着工を刺激し、その後の世界におけるトンネル技術の発展にも多大な影響を与え、今なおその価値を示し続けています。しかし、1988年の開通から 37 年の年月が経ち、当時の現場を知る技術者の多くが離職時期を迎えている中、この貴重な技術の伝承が急務となっています。

本講演会は、当時実際に青函トンネルの建設に従事した技術者や専門家による海底トンネルの調査、建設、維持管理など幅広いトピックをお届けするとともに、それらを踏まえた未来への展望についてのダイナミックな意見交換をお届けします。青函トンネルがその建設と運用で直面した技術的挑戦に改めて光を当てる、土木工学者としては見逃せないイベントですので、ぜひご参加ください。

開催形態

開催日時	2026年1月15日(木) 14:00~17:30
開催場所	・ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター) 5階 大会議室 2 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前1丁目3-4 9 京阪「天満橋」駅、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅①番出入口から東へ約 350m ・オンライン (Zoom)
申込期限	2025年12月22日 (月)
G-CPD	3.0 ポイント
定員	会場 60 名、オンライン 100 名
申込方法	(公社)地盤工学会関西支部ホームページ右欄の「行事申込」タブより必要事項をご記入の上お申込み下さい。(https://www.jgskb.jp/list_form/) E-mail、FAX でもお申込み可能です。(その際、①氏名、②所属、③所属住所、④所属先電話番号・FAX・メールアドレス、⑤会員・非会員の別、⑥生年月日をご記入ください)
申込先	(公社) 地盤工学会関西支部 S 〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストックビル天満橋 801 号 TEL : 06-6946-0393、FAX : 06-6946-0383、 E-mail : office@jgskb.jp 、URL : https://www.jgskb.jp

参加料（税込）※参加料は会場・オンライン共に同額です。

	会員・特別会員		非会員	
	若手（30歳未満）	その他（30歳以上）	学生	その他
講演会	1,100円	2,200円	1,100円	4,400円

※特別会員に入会団体の方は、会員価格でご参加いただけます。

- ・特別会員名簿はこちらからご確認ください。（https://www.jiban.or.jp/?page_id=555）
- ・特別会員の等級による講習会への参加できる人数は以下の通りです。
（特級：21人、1級：15人、2級：9人、3級：6人、4級：3人）

※協賛団体の会員は会員価格です。

※地盤工学会関西支部より領収証発行が可能です。申込フォームにて領収書の要・不要を選択してください。

プログラム

時間	プログラム
13：30	会場受付開始
14：00	開会挨拶
14：05	第1部：講演①「世紀の難工事とその挑戦（仮）」 ・登壇者：深沢成年 氏 元鉄道・運輸機構理事（現株式会社鴻池組執行役員） ・内容：青函トンネルの建設経緯と概要・基本コンセプト、 困難を克服した新たな技術の開発と建設時の話題など
15：20	休憩①
15：30	第2部：講演②「青函トンネルの今日・明日（仮）」 ・登壇者：朝倉俊弘 氏 NPO 法人トンネル工学研究会理事長（京都大学名誉教授） ・内容：青函トンネルの現況（維持管理状況）、青函トンネルで培われた技術の活用、 次世代のトンネル技術・維持管理への展望
16：45	休憩②
16：55	第3部：クロストーク・質疑応答 ・司会：澤村康生 京都大学准教授 ・内容：2名の講演者と司会者を交え、第1部、第2部の講演内容を受けた議論 参加者との質疑応答を通じた、学びの場
17：25	閉会挨拶

以上